

科目区分	基礎分野	授業科目	教育学
講師名	矢部 玲子	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期
講義の概要 *講師からの メッセージ	<p>教育とは「人間形成に作用するすべての精神的影響」を指します。 講師は中学校・高校の国語教育や教育内容・方法研究の経験に基づき、SGE やロールプレイング、ビジュアル教材など多彩なアプローチを通して、看護を教育つまり人間同士の関わりという視点から捉え、医療現場全体の人間関係に活用可能な自己変容を促します。</p>		
<p>目的：教育の原理を基礎知識とし、人間形成における教育の機能を理解して、看護場面における健康教育や患者の指導に応用できる能力を養う。</p> <p>目標： 1) 看護と家庭教育・学校教育・社会教育との関連が説明できる。 2) 教育＝「関わり」の発想に基づく他者理解の精神で接遇や自己表現ができる。</p>			
回	時間	講義内容	
1	2	教育の機能と原理 1 (教育＝「関わり」の発想Ⅰ)	様々な「教育＝関わり」を理解する SGE(構成的グループエンカウンター)の一つ「ブラインドデート」の実演から「自己表現と他者理解」を学ぶ
2	2	教育方法 1(教育と家庭Ⅰ)	子育てを教育という視点からとらえる
3	2	教育方法 3(教育と学校Ⅰ)	不登校を例に医療看護と学校教育の関係を考える
4	2	教育方法 4(教育と学校Ⅱ)	発達障害から医療看護と教育方法の関係を考える
5	2	教育方法 5(教育と社会)	大人の発達障害から医療看護と教育の関係を探る
6	2	教育方法 6(性教育Ⅰ)	性教育における教育と医療看護の関連を考える
7	2	教育評価 1(性教育Ⅱ)	性教育を例に患者の変容促進と評価の方策を探る
8	2	教育評価 2 (生と死の教育Ⅰ)	教育の観点から「生」と「死」との関わりを探り、death education の評価方策を探る
9	2	教育評価 3 (生と死の教育Ⅱ)	看護と「生」と「死」との関わりをホスピスの看護から探り、患者変容を促し評価する方策を探る
10	2	教育方法 2(教育と家庭Ⅱ)	児童虐待などを例に家庭教育方法の問題を考える

11	2	学習に影響する条件1 (自己と他者の立場Ⅰ)	ロールプレイングを通して看護場面における他者理解と患者指導の応用を知る
12	2	学習に影響する条件2 (自己と他者の立場Ⅱ)	ロールプレイングを通して看護場面における他者理解と患者指導に役立つ適切な接遇を知る
13	2	学習に影響する条件3 (自己と他者の立場Ⅲ)	ロールプレイングの実演・評価
14	2	教育の機能と原理2 (「関わり」の発想Ⅱ)	S G E 「Xさんからの手紙」の実演から、教育＝関わりの観点から教育の機能と原理を再考する
15	2	単位認定試験	筆記試験。Google form への入力・送信
講義方法		講義	
評価方法		筆記試験(講義内容の理解・適切な自己表現・正確な表記を評価): 90% 学習振り返り フォーム回答 状況と内容: 10%	
テキスト		なし	
備考			